

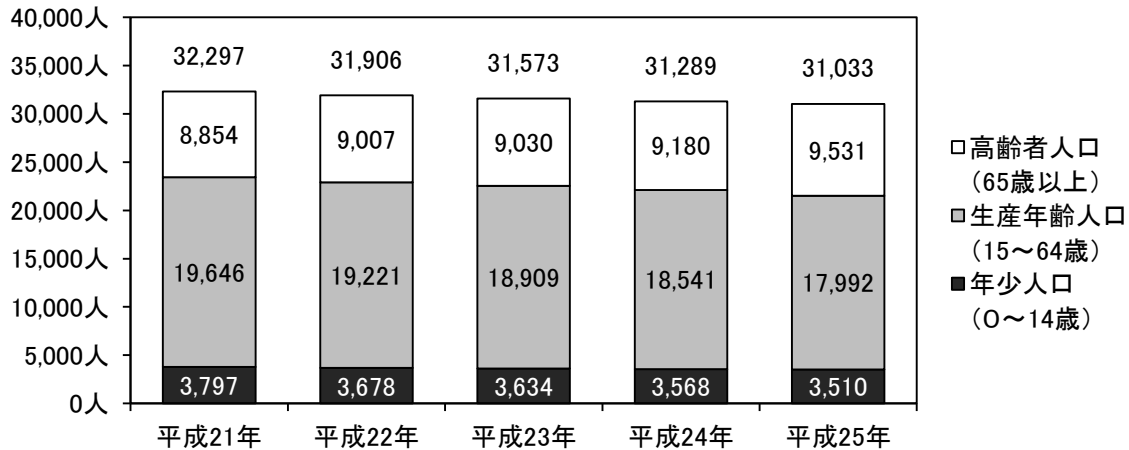
## 人口動態

## 1. 人口の推移

## (1) 年齢3区分別人口の推移

総人口は年々減少しており、平成25年で31,033人となっています。

年齢3区分別にみると、年少人口・生産年齢人口は減少、高齢者人口は増加しています。

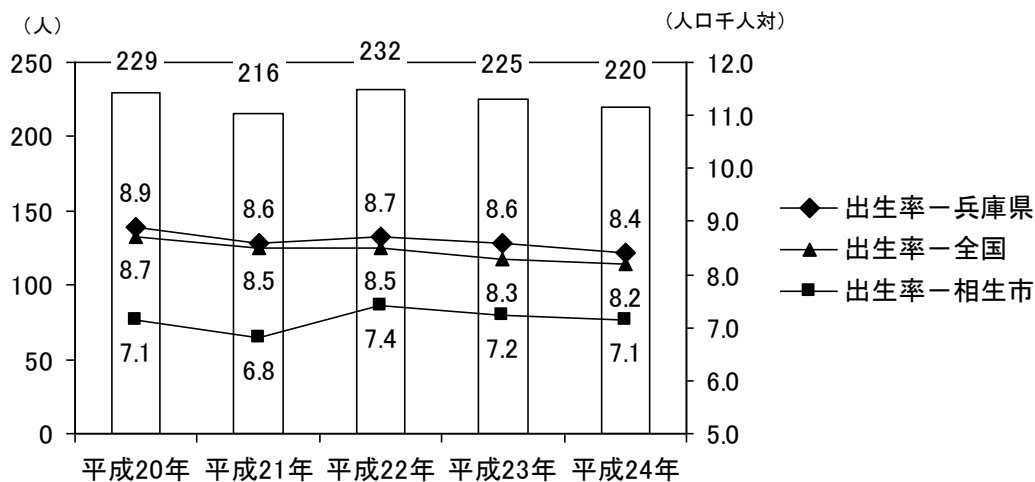


資料：住民基本台帳及び外国人登録人口（各年3月31日現在）

## (2) 出生数と出生率の推移

出生数は、平成20年で229人、平成24年で220人と各年で増減しているものの、ほぼ横ばいの状況です。

出生率も横ばいの状況にあり、平成24年で7.1となっています。また、本市の出生率は全国・兵庫県よりも低い状況にあります。

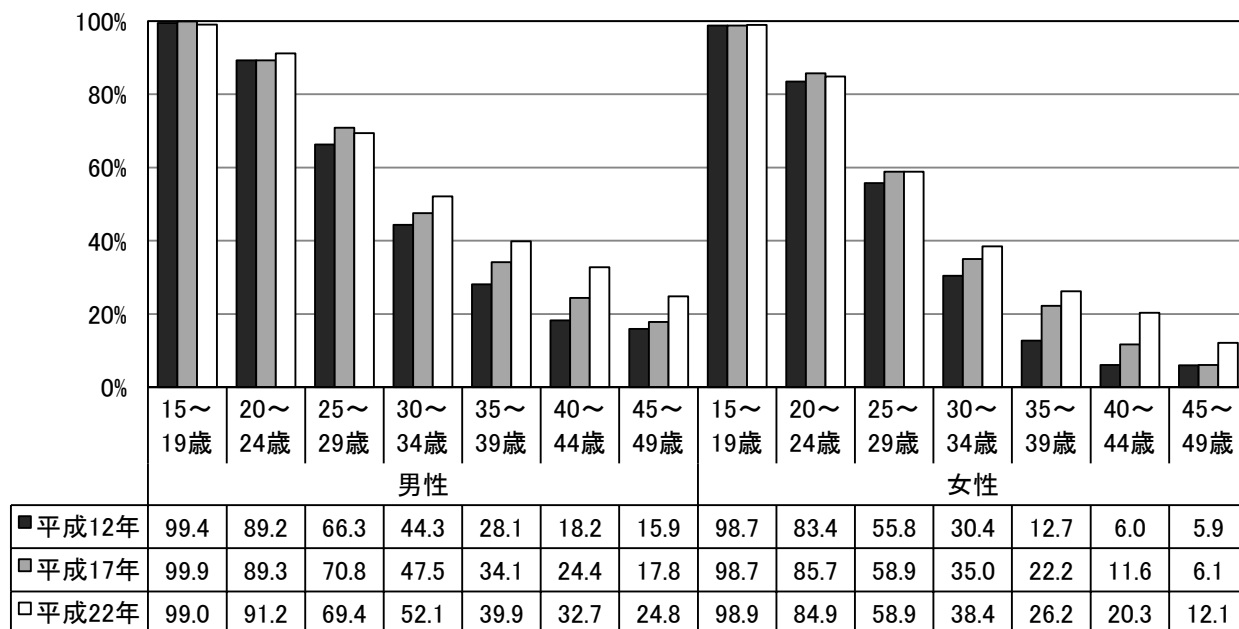


資料：相生市の出生数は兵庫県「人口動態調査」、出生率は兵庫県「人口動態調査」をもとに住民基本台帳人口（各年9月末現在）から算出。全国・兵庫県の出生率は厚生労働省「人口動態調査」

## 2. 未婚率の推移

未婚率の推移をみると、男女ともに 15～29 歳の年齢層は増減があるものの、年々未婚率が高くなっています。

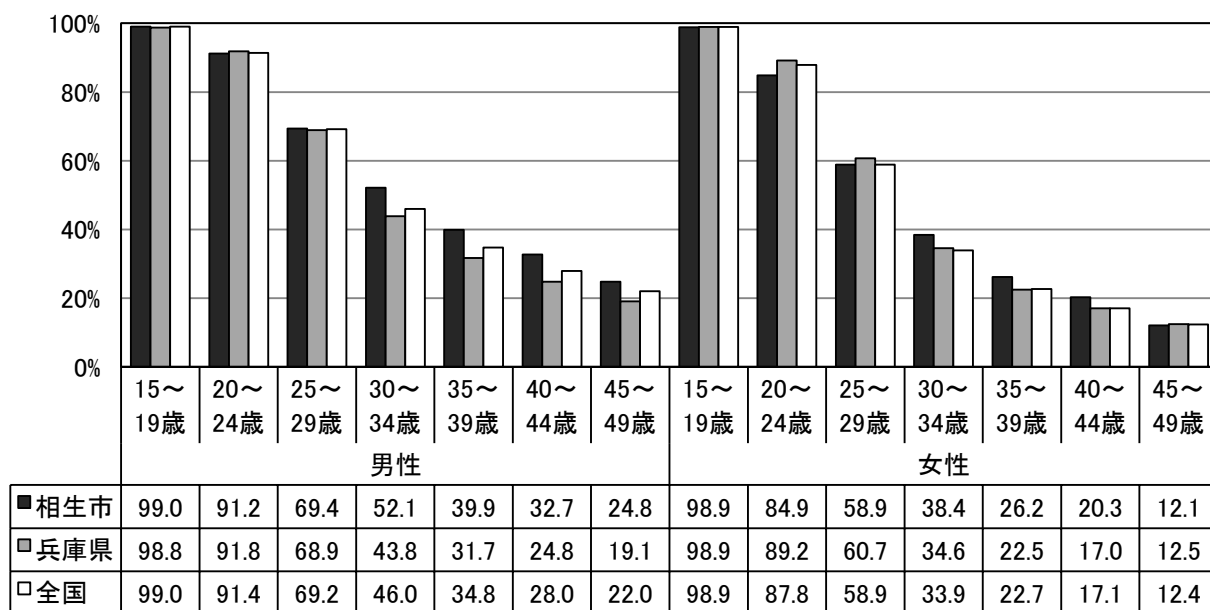
男女で比較すると、女性より男性のほうが未婚率が高くなっています。



資料：各年「国勢調査」

平成 22 年の未婚率を全国・兵庫県と比較すると、男性の 15～29 歳は全国・兵庫県とほぼ同じ割合となっていますが、30 歳以上の年齢では全国・兵庫県よりも未婚率が高くなっています。

女性をみると、30～44 歳の年代が全国・兵庫県よりも未婚率が高くなっています。

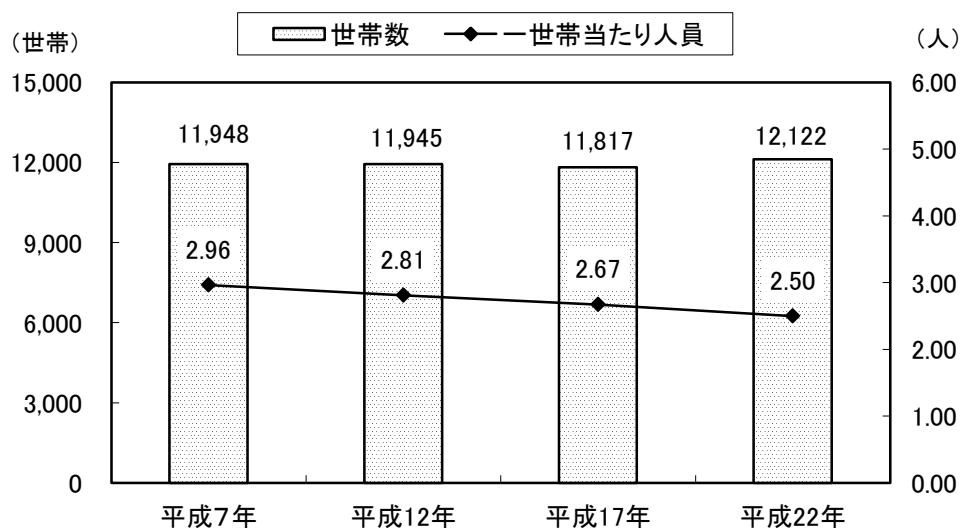


資料：「平成 22 年国勢調査」

### 3. 世帯の動向

#### (1) 世帯数と一世帯あたり人員の推移

世帯数は平成 22 年で 12,122 世帯と各年で増減しているものの、ほぼ横ばいの状況です。一世帯あたり人員は年々減少しており、平成 22 年で 2.50 人となっています。



資料：「平成 22 年国勢調査」

世帯類型別にみると、「単独世帯」は年々増加、「その他の親族世帯」は年々減少しています。

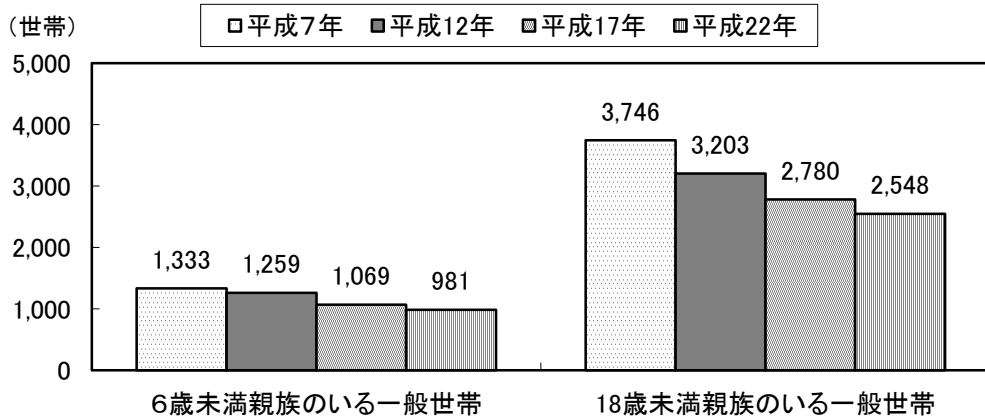
構成比を兵庫県と比較すると、「核家族世帯」「その他の親族世帯」は兵庫県よりも多く、単独世帯は兵庫県よりも低くなっています。

		世帯数				構成比			
		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
相生市	一般世帯数	11,948	11,945	11,817	12,122	100.0	100.0	100.0	100.0
	核家族世帯	7,552	7,610	7,592	7,608	63.2	63.7	64.2	62.8
	その他の親族世帯	2,151	1,918	1,649	1,317	18.0	16.1	14.0	10.9
	非親族世帯	23	21	27	48	0.2	0.2	0.2	0.4
	単独世帯	2,222	2,396	2,549	3,143	18.6	20.1	21.6	25.9
兵庫県	一般世帯数	1,867,031	2,035,097	2,128,963	2,252,522	100.0	100.0	100.0	100.0
	核家族世帯	1,189,321	1,286,413	1,334,679	1,361,978	63.7	63.2	62.7	60.5
	その他の親族世帯	255,430	234,299	216,254	190,333	13.7	11.5	10.2	8.4
	非親族世帯	4,611	6,632	8,549	14,419	0.2	0.3	0.4	0.6
	単独世帯	417,669	507,753	569,481	681,009	22.4	24.9	26.7	30.2

資料：各年「国勢調査」

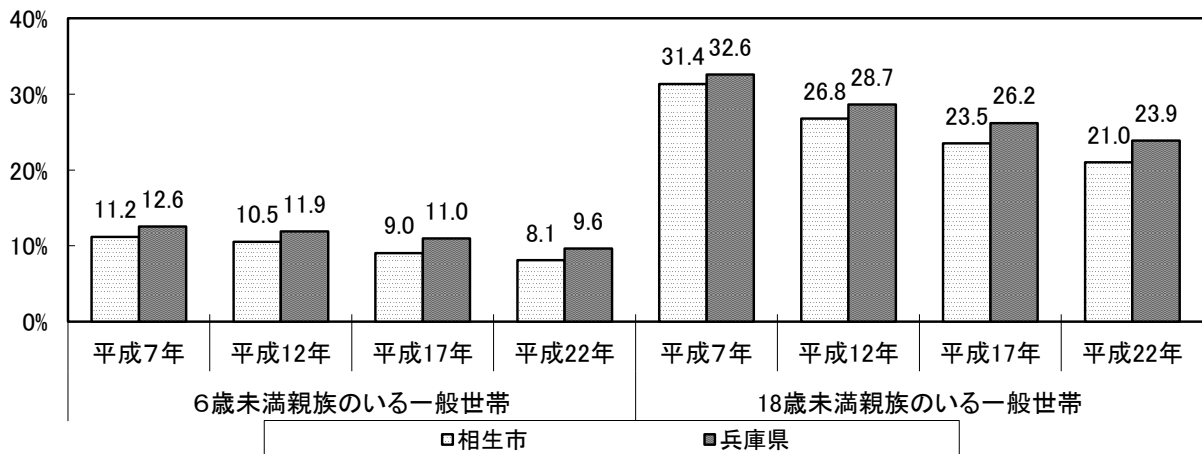
## (2) 子どものいる世帯

6歳未満の親族のいる一般世帯・18歳未満の親族のいる一般世帯ともに年々減少しています。



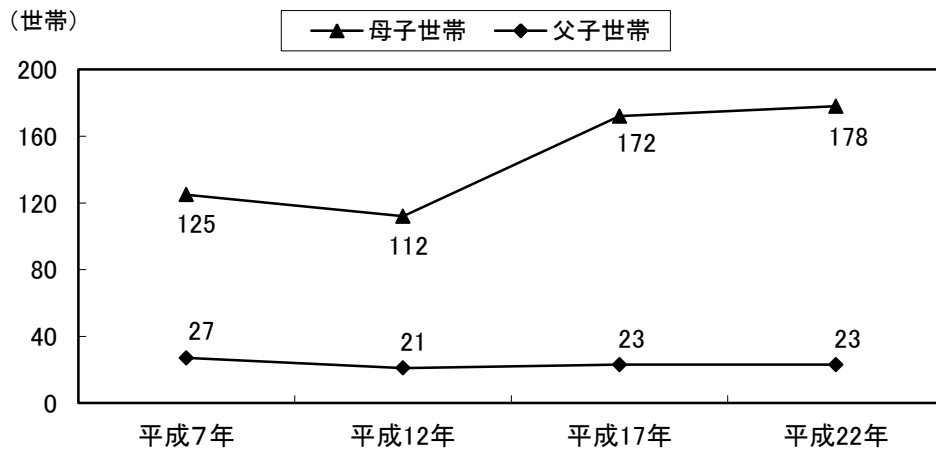
資料：各年「国勢調査」

また、子どものいる世帯を兵庫県と比較すると、6歳未満の親族のいる一般世帯・18歳未満の親族のいる一般世帯ともに兵庫県よりも低くなっています。



資料：各年「国勢調査」

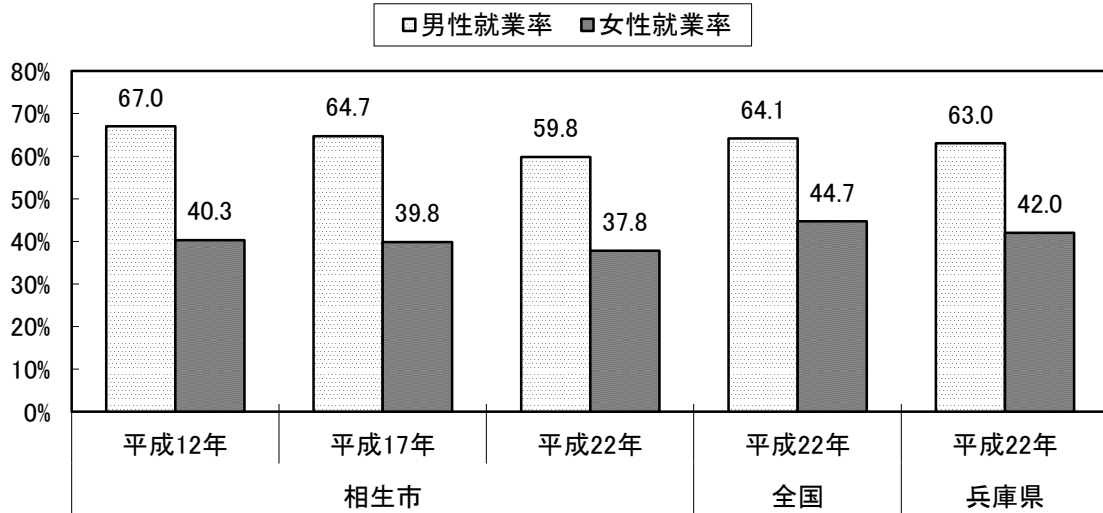
ひとり親世帯は、母子家庭は年々増加しており、父子家庭は横ばいの状況です。



資料：各年「国勢調査」

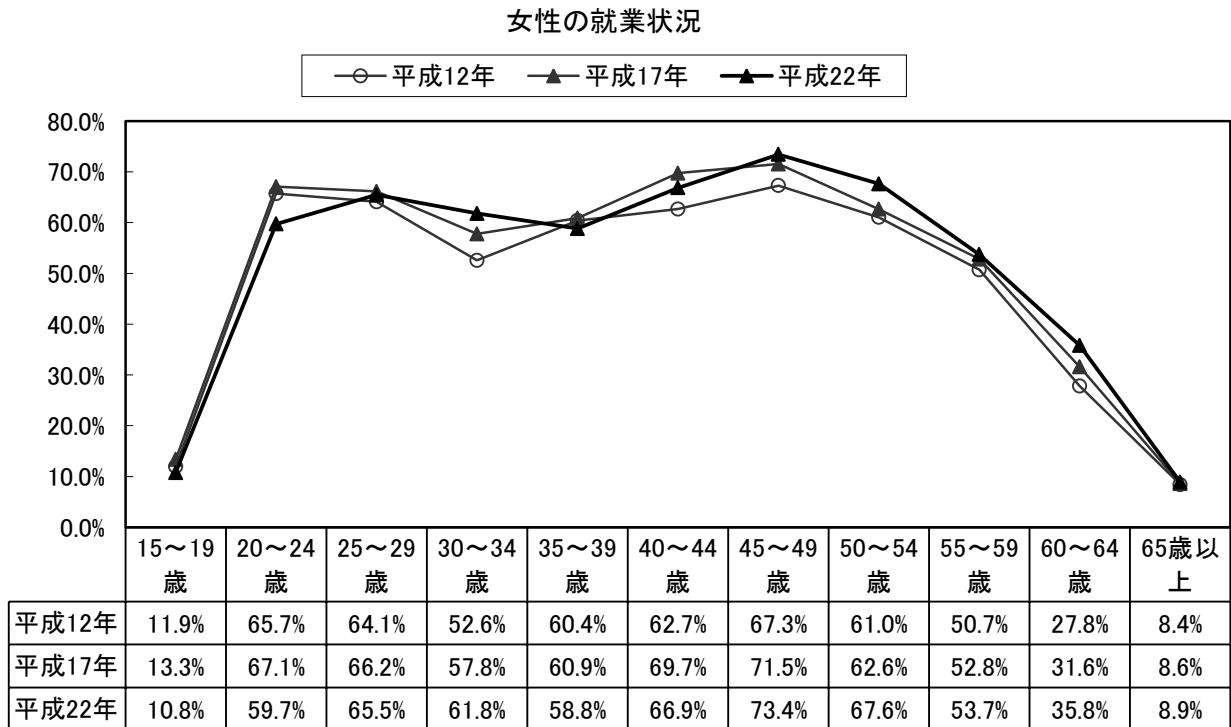
### (3) 就業状況

就業状況を見ると、男女ともに年々就業率が下がっている状況にあり、全国・兵庫県よりも就業率は低い状況にあります。



資料：各年「国勢調査」

女性の就業率を5歳階級別にみると、30～34歳及び45歳以上の年代において就業率が年々高くなっています。



資料：各年「国勢調査」